

徳島県美術展



会期

■第1期

平成11年11月16日(火)→23日(火・祝)=日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザイン
午前9時～午後5時

■第2期

平成11年11月25日(木)→12月2日(木)=書道
(前期11月25日～28日・後期11月29日～12月2日)
午前9時～午後5時

会場／徳島県郷土文化会館

主催／徳島県民文化祭開催委員会・徳島県美術家協会・徳島新聞社

第54回

〈平成11年度〉

徳島県美術展

作品集

日本 画
洋写彫美書デ ザイ 工 芸 道
術 ザイ ン

主 催

徳島県民文化祭開催委員会

徳島県美術家協会・徳島新聞社

後 援

N H K 徳島放送局・四国放送・徳島県文化協会

審査員

(敬称略)

①住所 ②所属団体・役職名 ③受賞歴など。



【日本画】 内田 あぐり

①東京②武蔵野美大教授、創画会会員③創画会賞、山種美術館賞大賞など。



【書道】 津金 孝邦

①東京②凌雪会会長、全国書美術振興会常務理事③日展特選、日展文部大臣賞など。



【洋画】 奥谷 博

①神奈川②日本芸術院会員、日本美術家連盟理事③日本芸術院賞、芸術選奨文部大臣賞など。



【書道】 池田 桂鳳

①京都②奈良教育大教授、水穂会理事長③日展特選など。



【写真】 高田 誠三

①大阪②大阪芸大教授、全日本写真連盟理事③写真芸術国際ビエンナーレ招待など。



【書道】 松永 暘石

①大阪②日展会員、神戸松蔭女子学院大教授③日展特選、大阪府文化功労表彰など。



【彫刻】 小林 陸一郎

①大阪②京都精華大美術学部長、基礎造形学会理事③行動美術賞、神戸須磨離宮公園現代彫刻展大賞など。



【デザイン】 戸田 正寿

①東京②日本グラフィックデザイナー協会会員③朝日広告賞グランプリ、ラハチボスタービエンナーレ・グランプリなど。



【美術工芸】 松永 勲

①埼玉②東京芸大教授、現代工芸美術家協会評議員③現代工芸賞、現代工芸特別会員賞など。

審査員総評



〈写真〉

審査員 高田 誠三
(大阪芸大教授)

1,316点という応募点数は他県では例を見ない多さで、県展にかける熱心さがうかがわれる。作品のレベルも高く、全精力を傾けた迫力が伝わってきた。

いい作品とは、単なる記録ではなく、被写体を借りて作者が何かを語る物語性を持っていることだ。目で見える被写体の奥にあるものをくみ取っているかどうか。それが入選と落選の差になる。

また、組み写真の中には一枚だけの方がいいという作品も少なくなかった。せっかくの一枚を、組み写真にすることによっ

て台無しにしてしまうこともある。組むということの意味を考えてほしい。

徳島市長賞の村岡洋一「ハンミョウ」は、平凡な虫を被写体に、物語性あふれる作品に仕上げた。ハンミョウのいるマンホールのふたのほかし具合がうまく、まるで宇宙のようにも思わせて、見る人をメルヘンの世界に誘い込む。ほけ効果によって主題が生きている。

特選・大津勝治「精神統一」は、静寂の中で弓を引く前の緊張感が伝わってくる。女性のポーズと構図がいい。的の配置によっても印象が変わってくるが、この作品はそういう構図を一瞬のうちに考えていることが分かる。

特選・森住博「踊り娘」は、懸命に踊っている乙女が実にかわいい。その雰囲気をはけ具合や女性のポーズ、さらに背景の別の踊り子の手まで考慮した構図で表現し、作者のうまさが感じられる。被写体、光、構図がそろった傑作。

特選・岡村浩「旅の途中」は、まさに現代を写した作品。仁王像の前で携帯電話で話す若い尼僧と、それをじっと見ている仁王像。少しマンガチックで、見る人に、電話の相手は恋人かといった想像をさせる、いろんな物語を持った作品だ。



〈彫刻〉

審査員 小林 陸一郎
(京都精華大美術学部長)

全体にバリエーションに富んでいて、楽しく審査できた。従来の彫刻にはあまり見られないような斬新（ざんしん）な素材のものも数点あり、彫刻の広がりを感じさせる。

石膏（せっこう）を使った人体像が多く出品されていたが、総じてデッサンが弱いように思う。いい作品を見たり、量感をしっかりと把握する観察力を身につけてほしい。

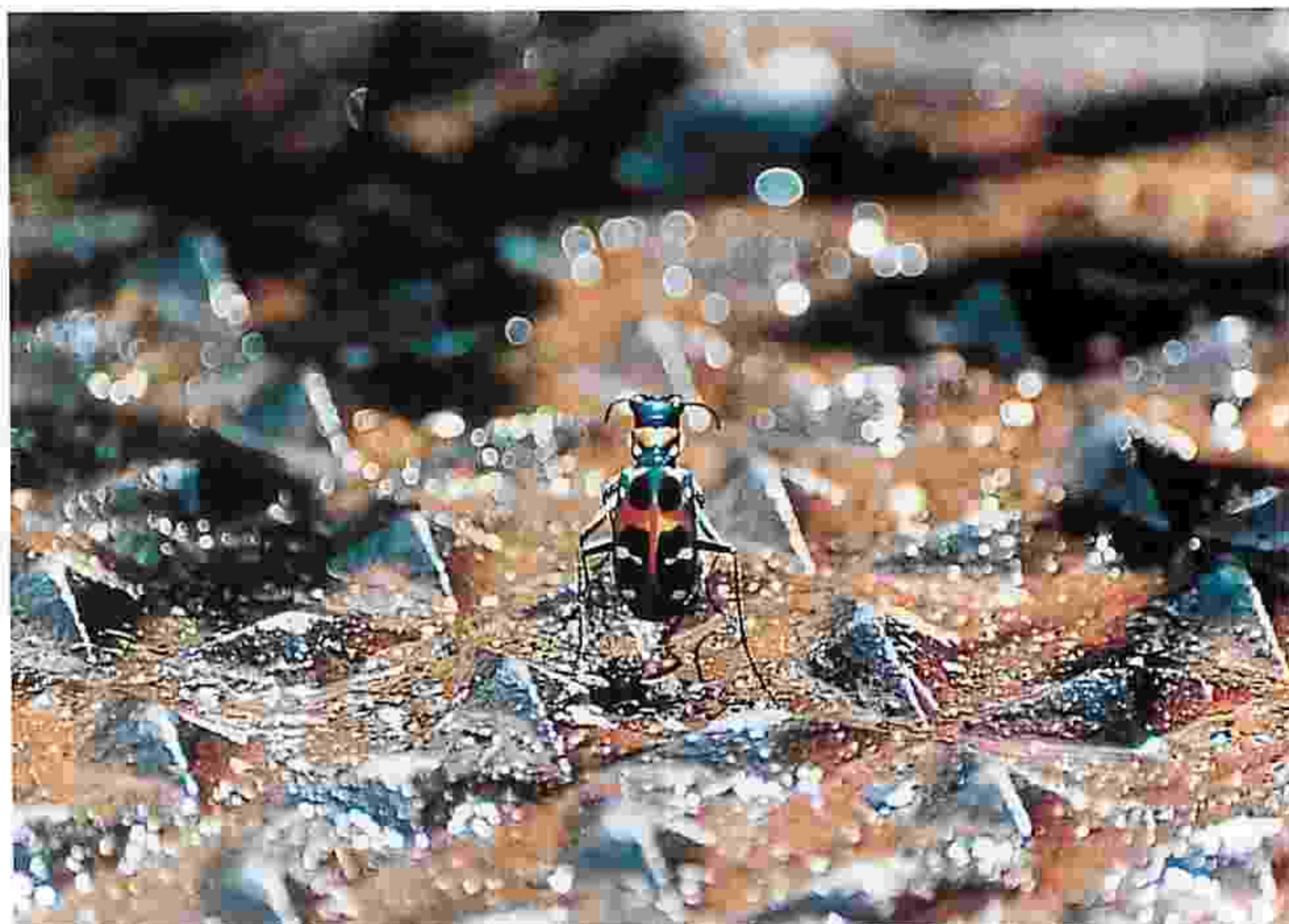
長年作品を作っていると慣れが来て、容易に作品ができてしまうようになる。マンネリ化して面白みがなくなるので、自分の癖を壊し、常に進歩する気持ちを忘れないようにしてほしい。

徳島新聞社長賞の中川伸一「Stone AgeⅡ」は、テクニックとセンスの良さが光る作品。無駄な要素がなく、素材（石）の持つ緊張感がうまく表現されている。意図的に残したひびも、作品に迫力を与えている。

準特選の上月佳代「ジンドリスブルー」は骨格がしっかりしており、確かなデッサン力を感じさせる。冗舌すぎる部分もあるが、自分の癖を壊そうとする作者の力強さを評価した。

同じく準特選の居上真人「ぼくもとびたい。」にはエーモアがある。しかし、凝り過ぎて少々トリッキーなのが残念。原点に戻って、素直な作品作りを心掛ければ良くなるだろう。

写真



特選・徳島市長賞 ハンミョウ 村岡 洋一

写真

招待
コロラド峡谷
増田 清次



招待 陽光 井上 光雄

招待
夜明け
木田 英之



招待 晩秋の光 西條 征二



招待 照葉 勝西 雅夫



招待 藍倉 (武知家) 武内 亨



招待 琴江川暮色 笹田 敏雄



招待
台所
藤井
梵



招待 夏の日 酒井 博司



招待 夢きゆめ 楠渕 魏

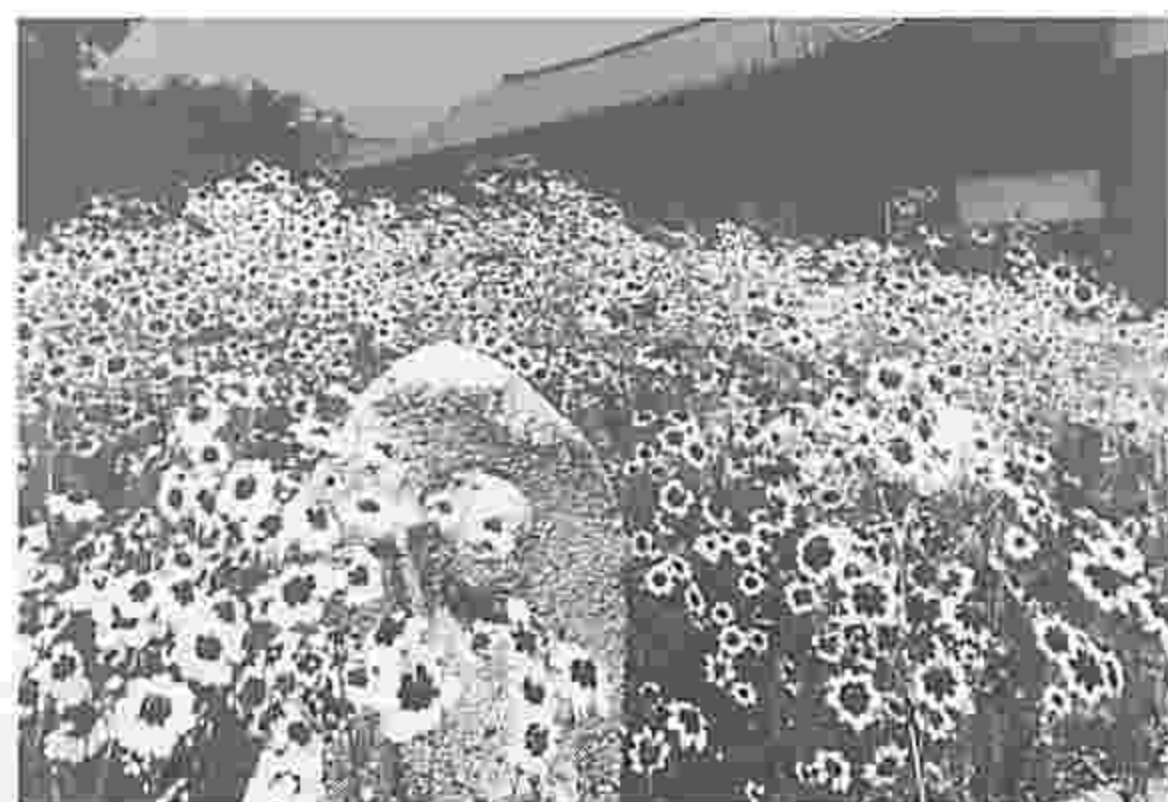
招待
新世界界限
上野
照文



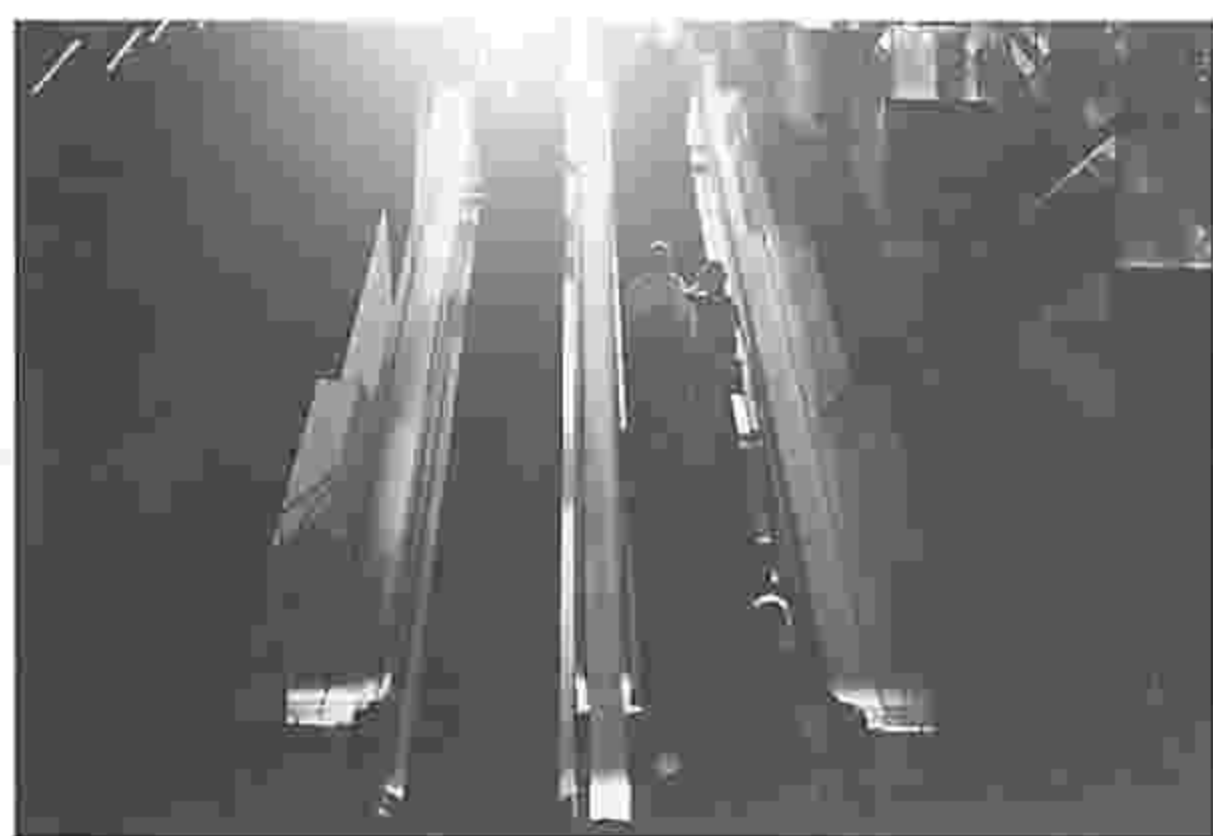
招待 天涯の花・キレンゲショーマ 三好 和義



招待 ライン 森 賢一



招待 初夏の詩 橋本 圭祐



招待 斜陽の街 安長 剛



招待 さくら 前浦 芳久



招待 出番前 多田 晴美



招待 花売り 荒井 賢治



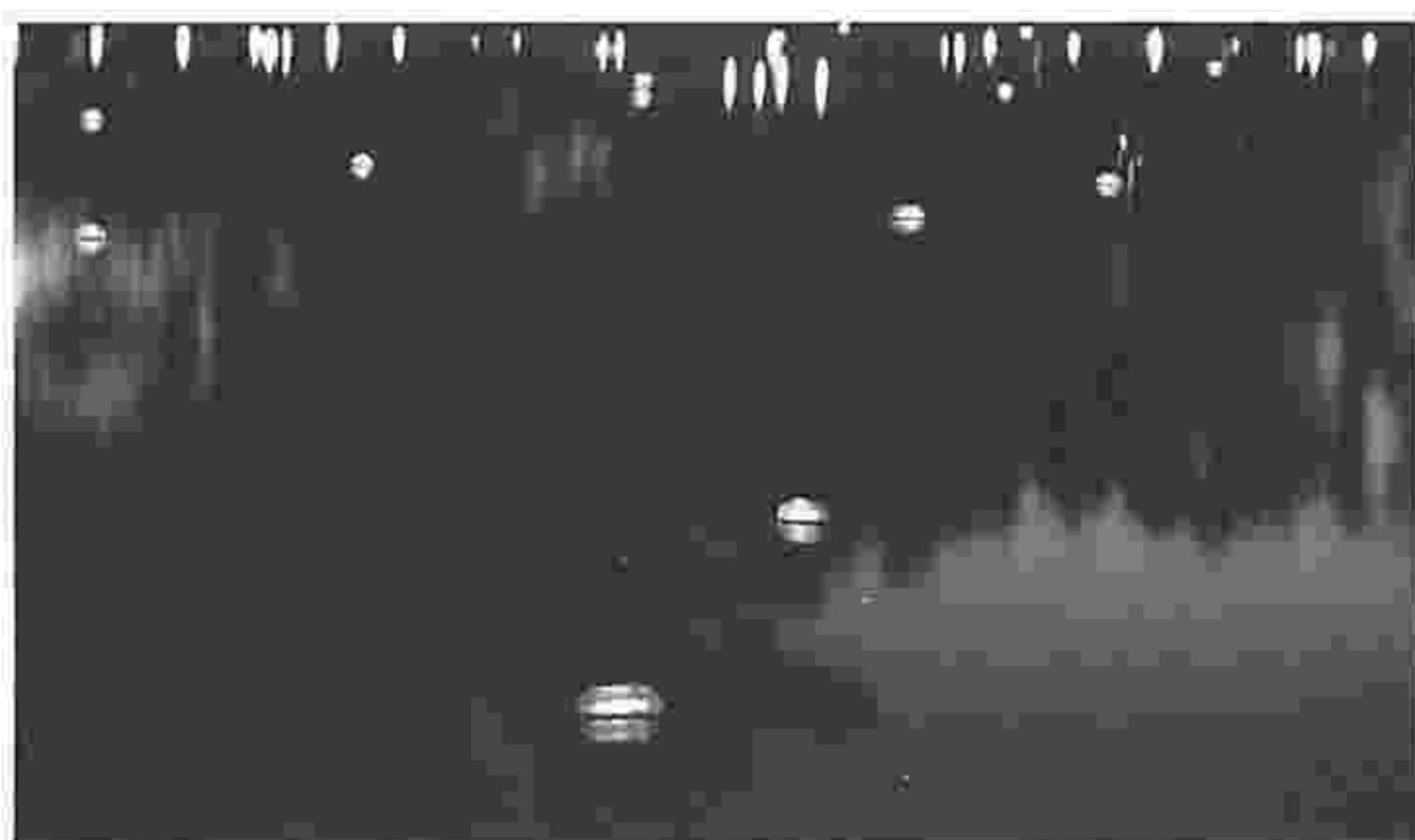
招待 夜の渚 林 敏彦



招待 鎮魂 古井 謙吉



招待 めでたい日 中野 建吉



招待 燈花会 井藤 光章



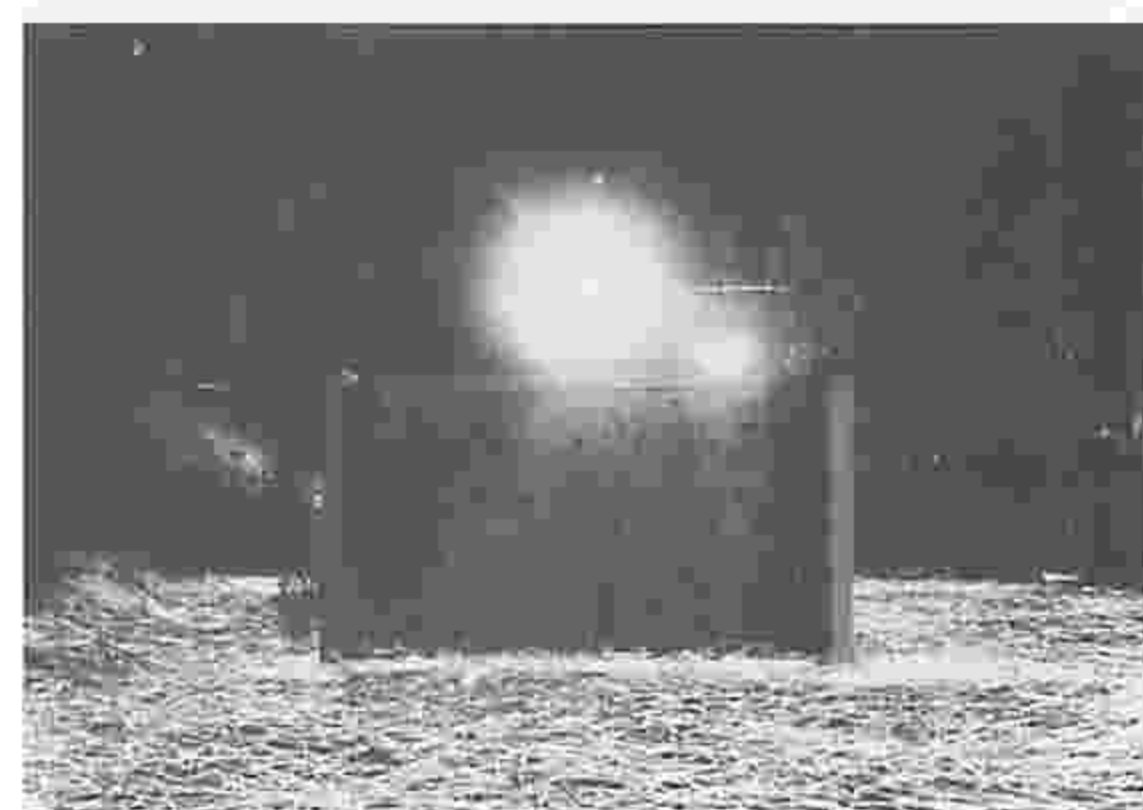
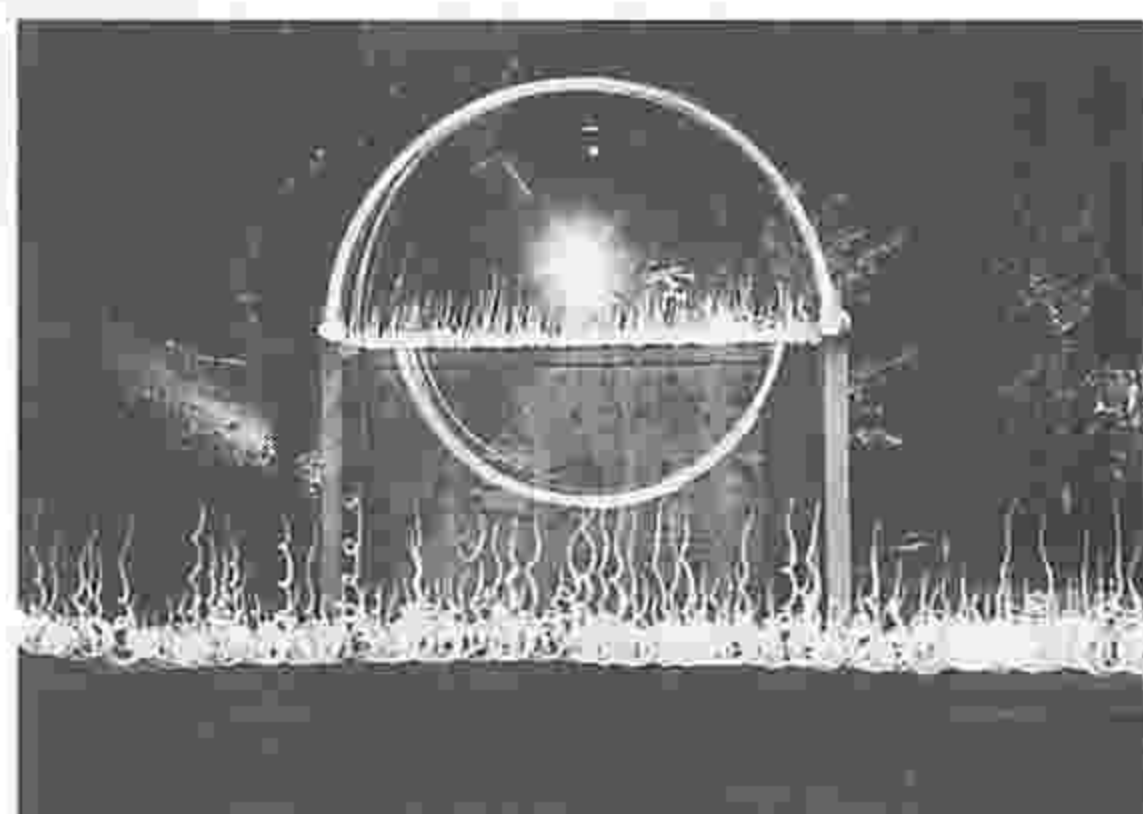
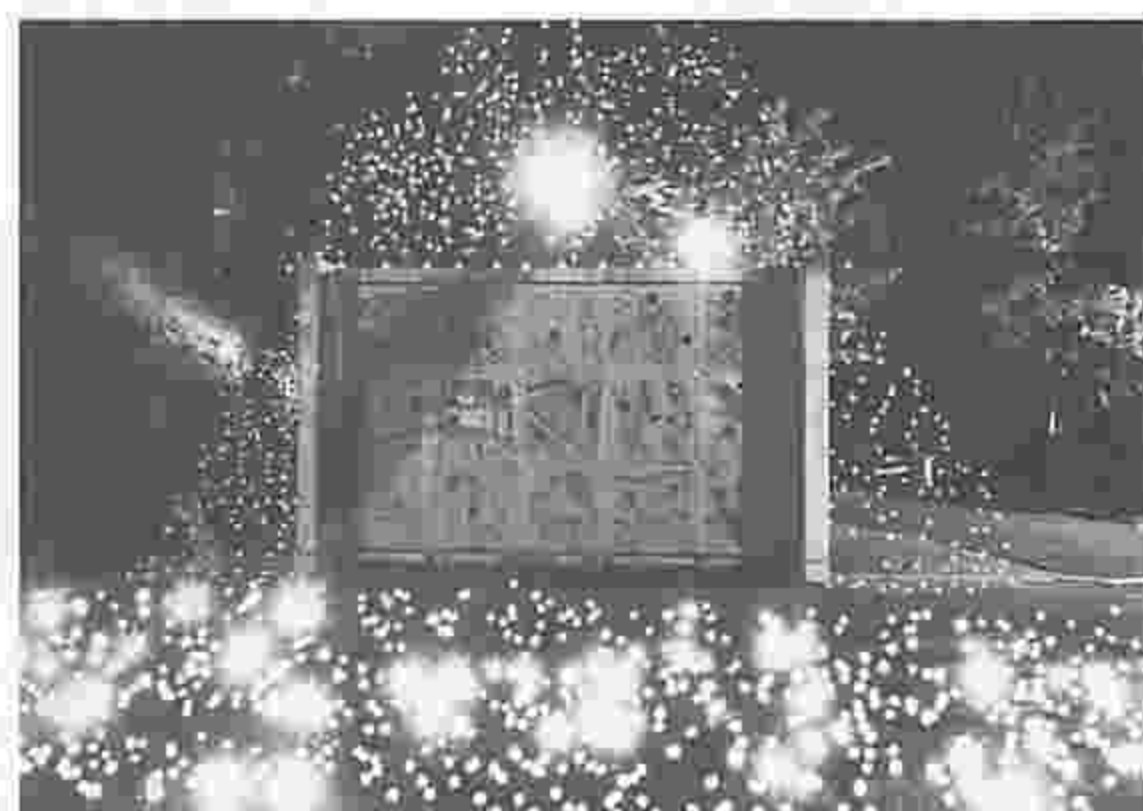
無鑑査 霧水 増田 寿



特選 旅の途中 岡村 清



特選 精神統一 大津 勝治

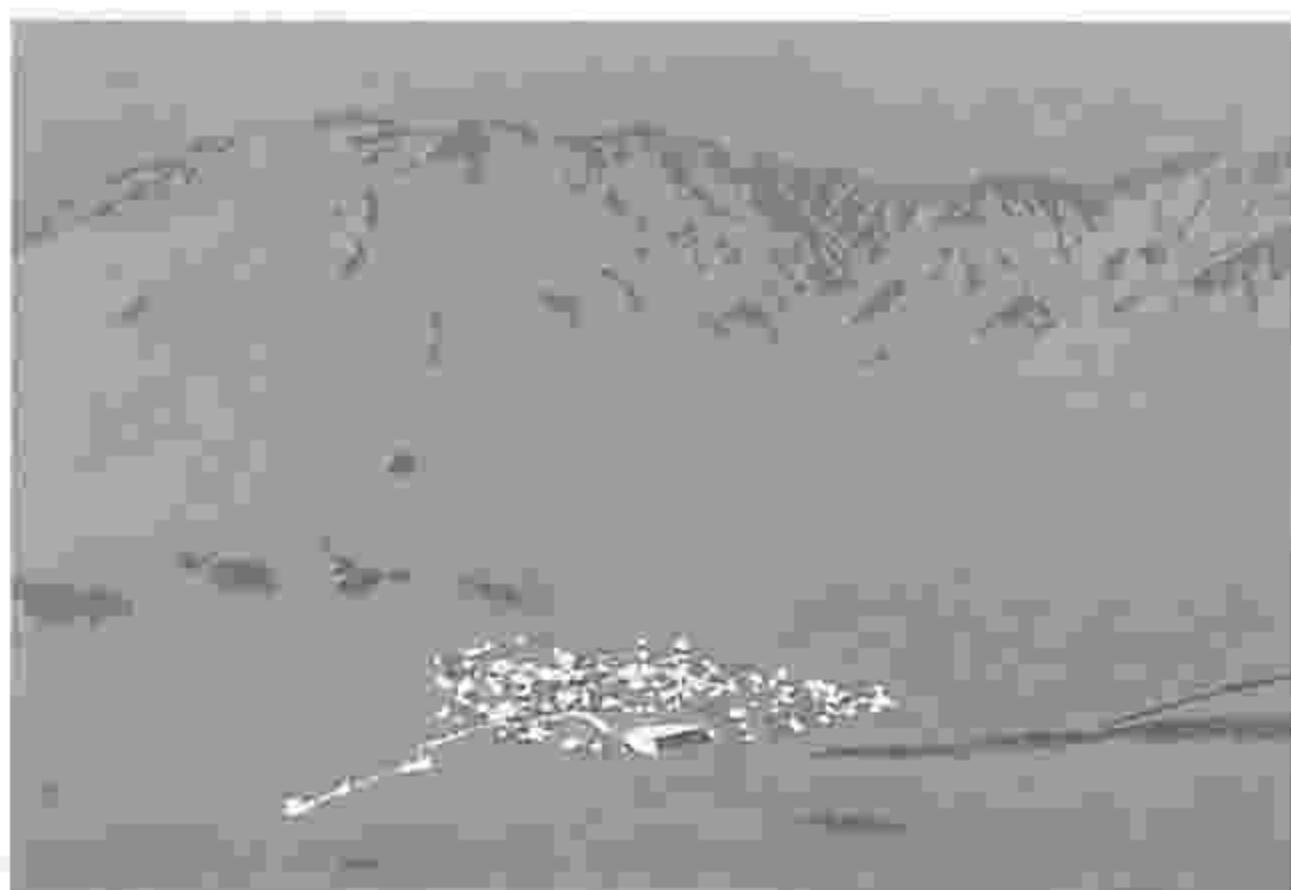
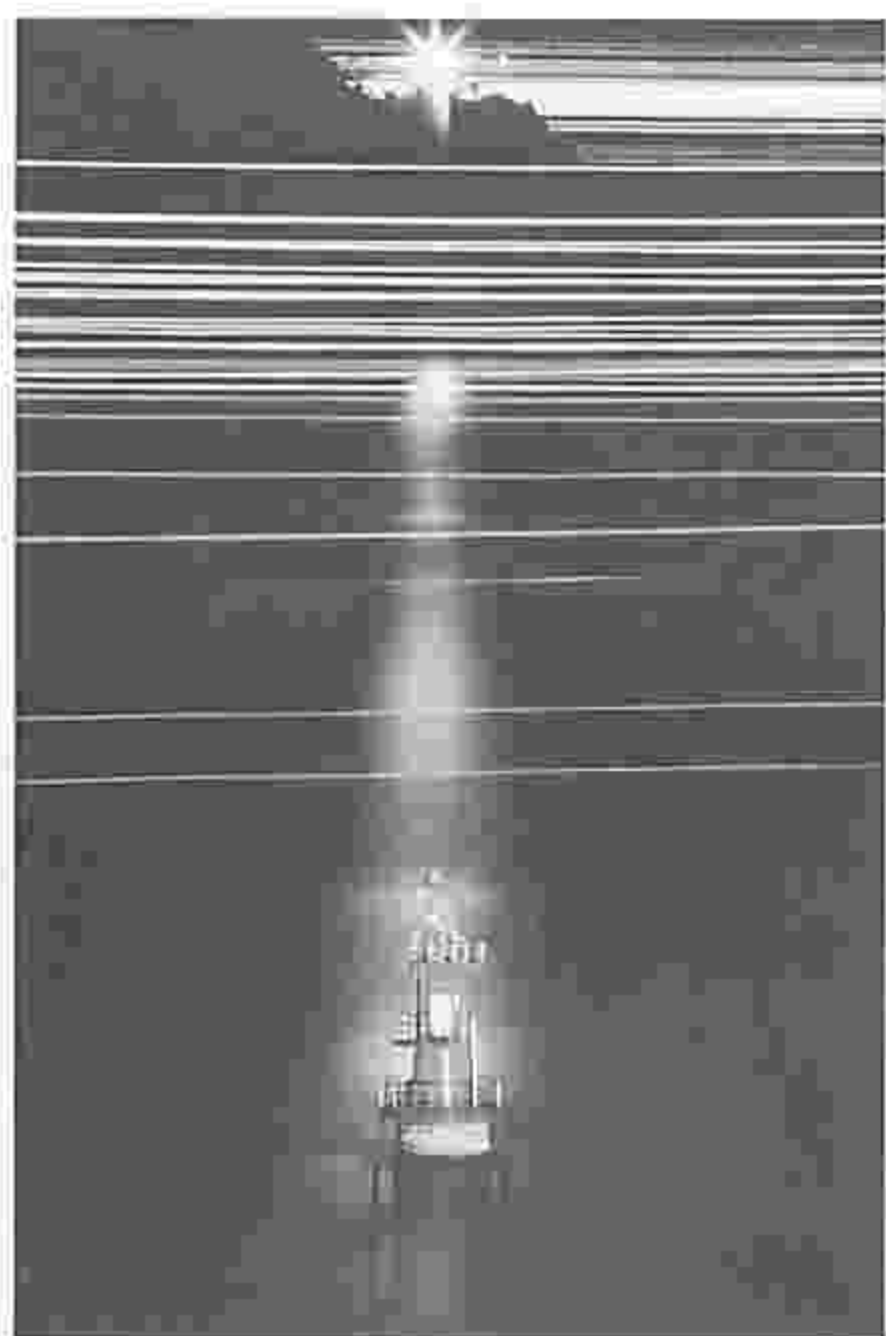


準特選 呼吸 前坂 祥文

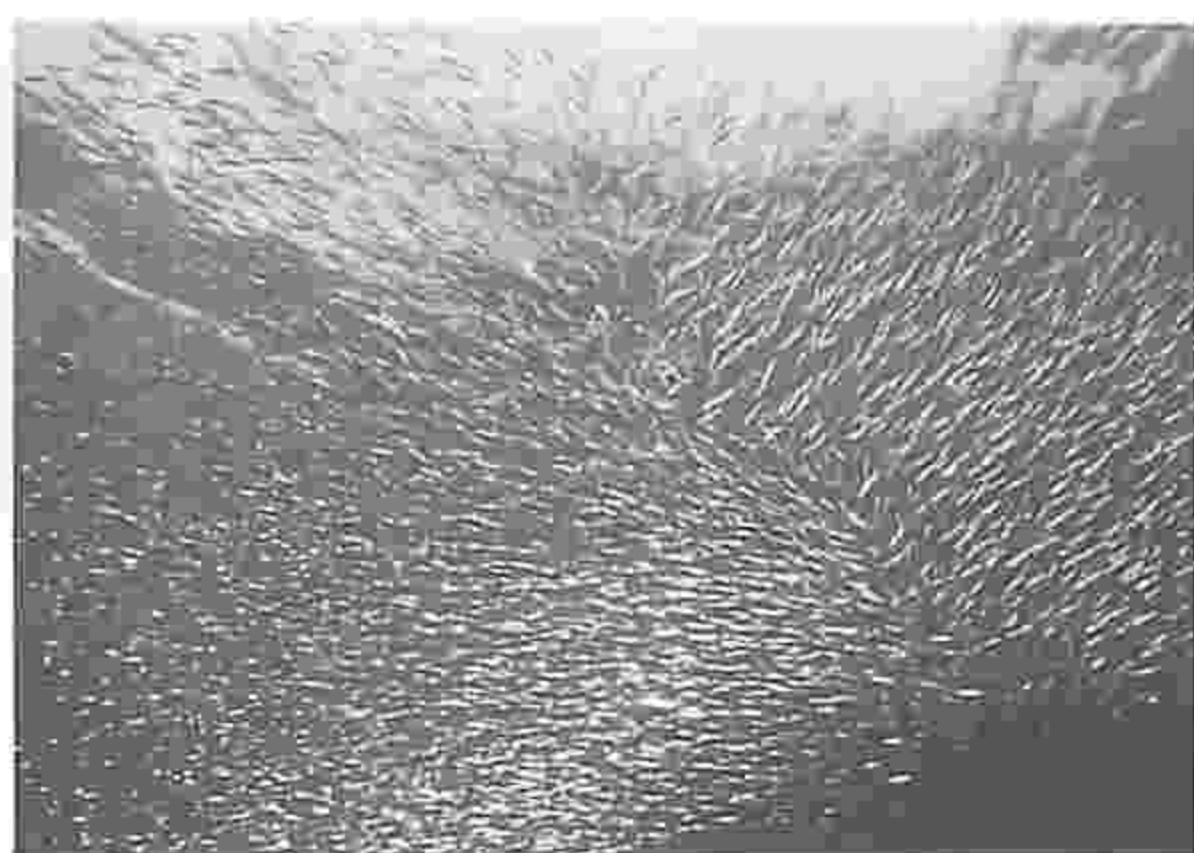
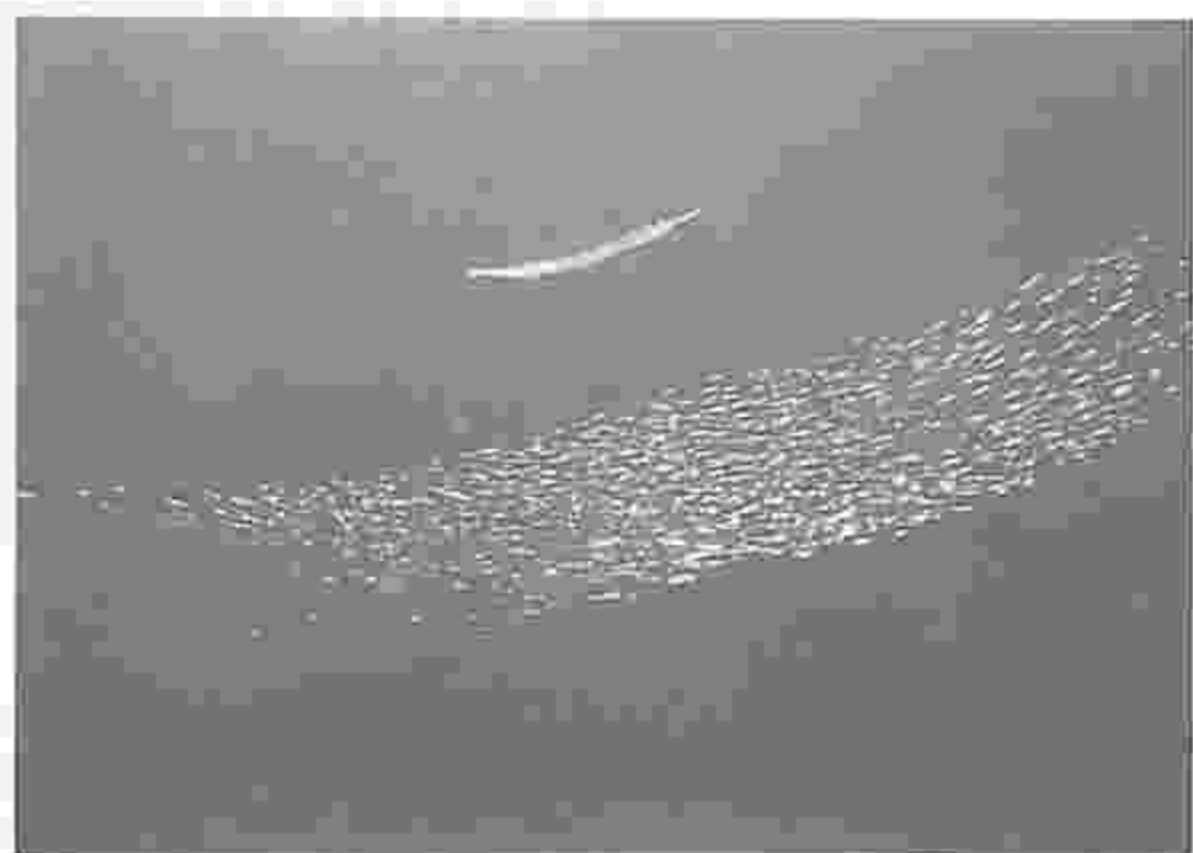


特選 踊り娘 森住 博

準特選
光彩
内田 達也



準特選 テント村 久保 英樹



準特選 群れ 大和 健司

準特選
死闘
清水 定七



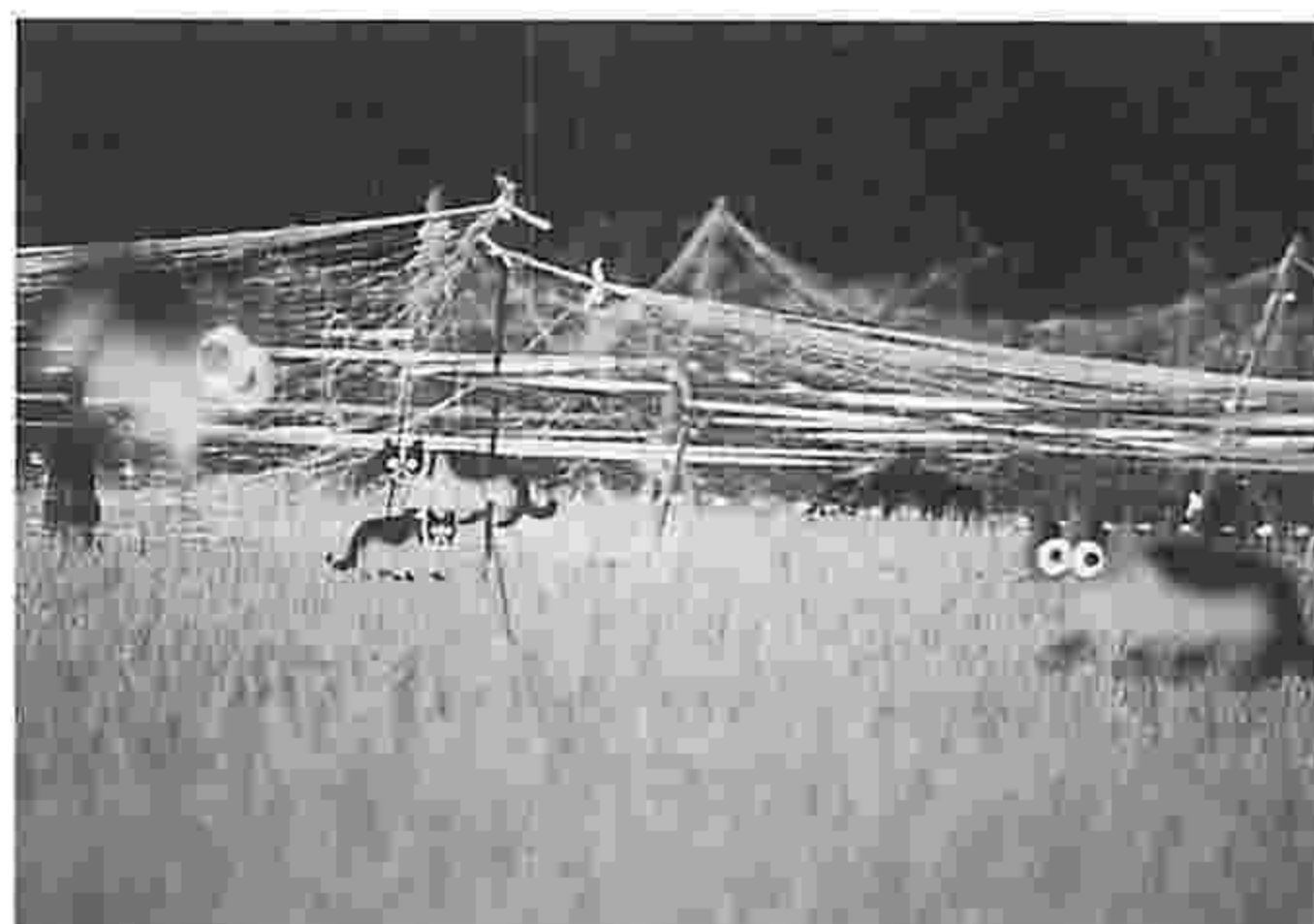
準特選 瞬美 柳本 正



準特選 夫婦 佐野 辰夫



準特選 無常 久我 千鶴



奨励賞 案山子 船越 正文



奨励賞

夏の女(ひと)

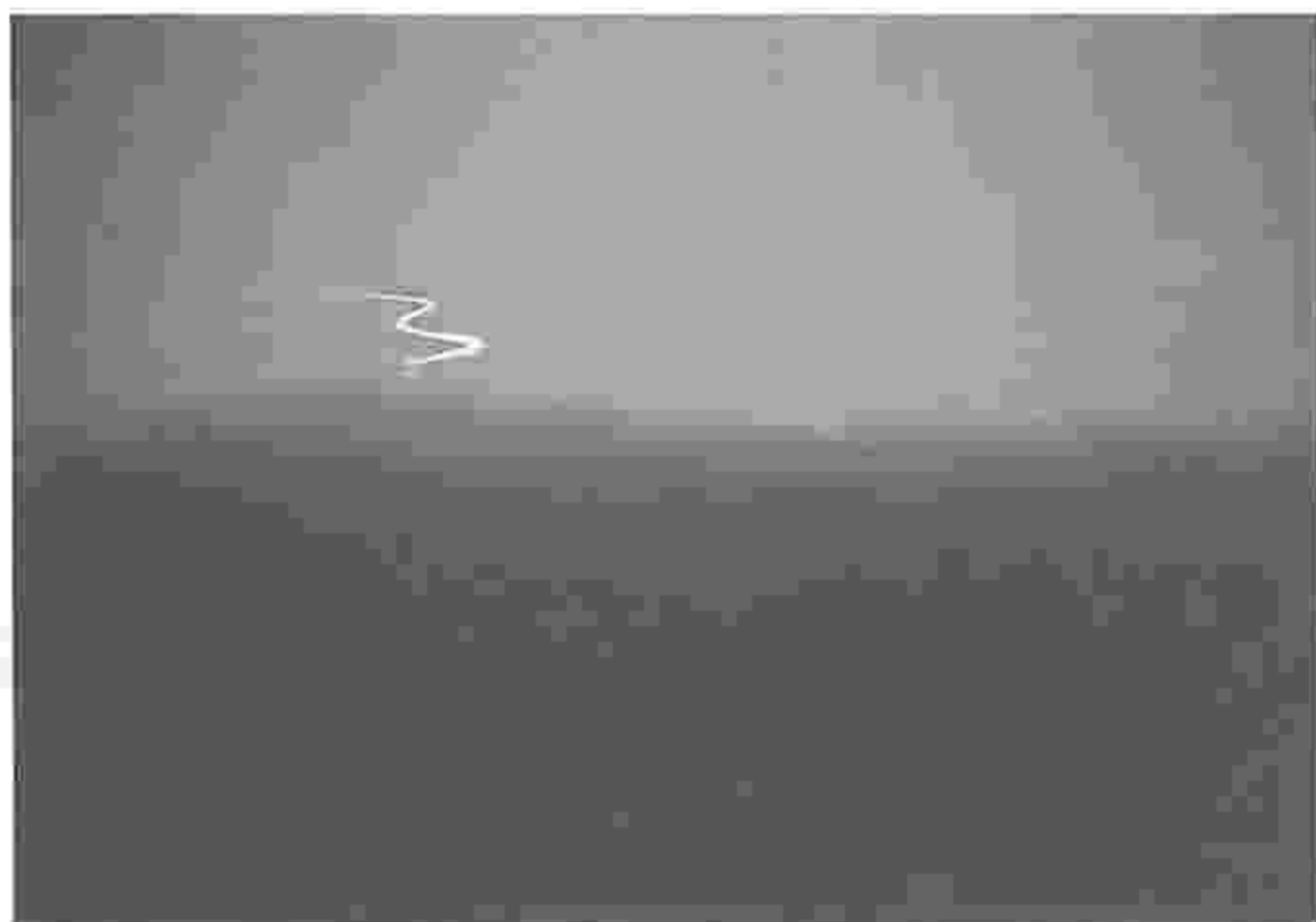
赤木 昭子



奨励賞 初秋の頃 富永 幸子



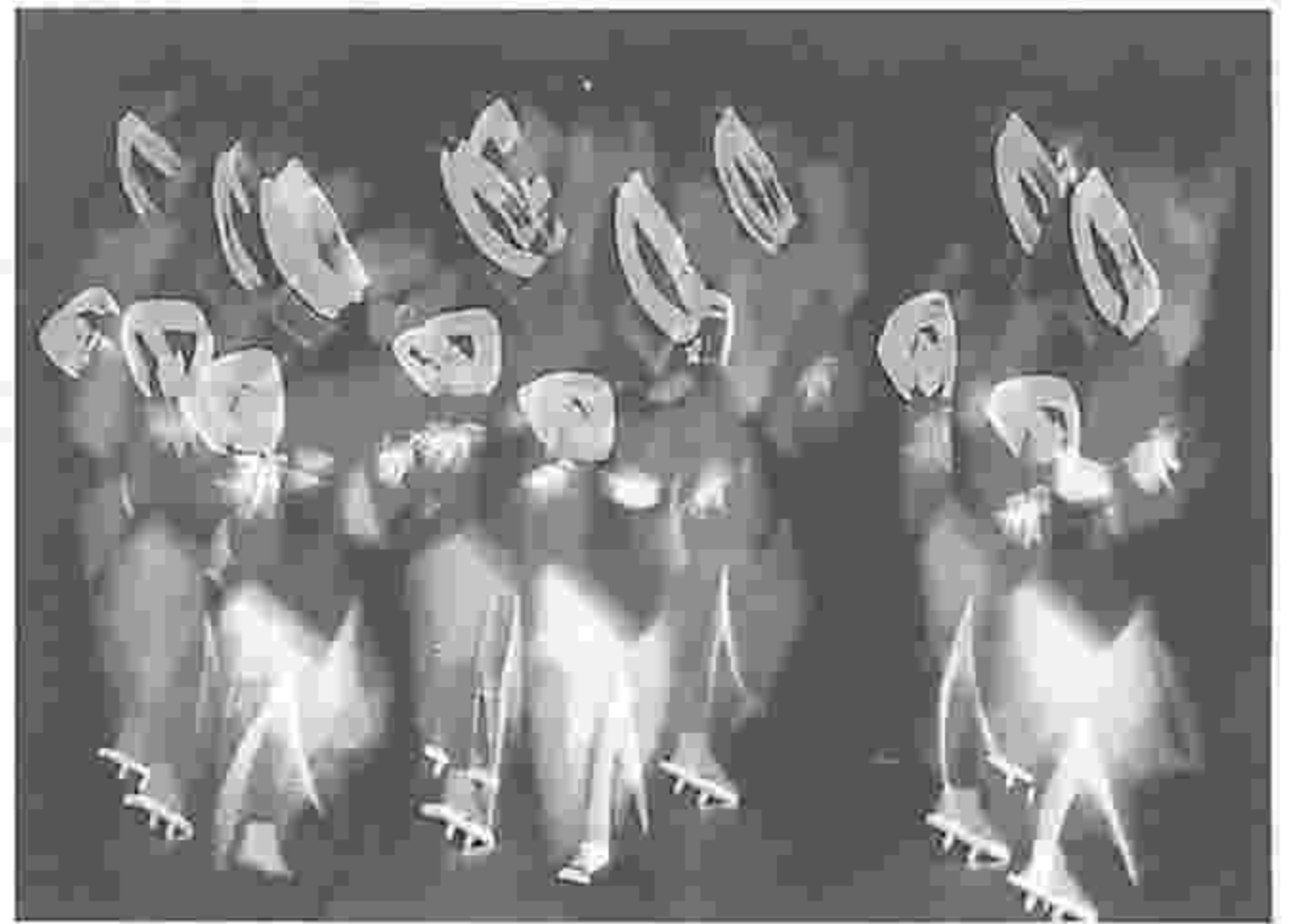
奨励賞 花のトンネル 稲井 芳男



奨励賞 遊泳 上杉 大一



奨励賞 捕まえたヨー 板東よしお



奨励賞 光彩 坂東 裕子



奨励賞 神域 坂東 進

第54回記念県美術展出品・入選等状況

区分	部門	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
出品数		71	300	1,316	38	144	788	140	2,797
人数		63	207	261	34	110	704	118	1,497
入選	率	54.9%	40.3%	16.6%	60.5%	59.7%	40.1%	40.0%	30.7%
	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	5	8	2	3	13	3	37
	奨励賞	1	5	8	2	3	13	3	35
	入選	33	108	198	18	78	282	48	765
	計	39	121	218	23	86	316	56	859
落選	率	45.1%	59.7%	83.4%	39.5%	40.3%	59.9%	60.0%	69.3%
	落選	32	179	1,098	15	58	472	84	1,938
特別等	特別出品		3		1	1	5	1	11
	招待	8	9	22	5	8	38	3	93
	無鑑査	1		1	1	1	4		7
	賛助出品	3	10		1	2	1	1	18
	計	12	22	23	8	11	48	5	129
展示数		51	143	241	31	97	364	61	988

◎特別賞は特選の内数である。